

報告事項 2

令和元年度第 1 回徳島県いじめ問題等対策審議会の議事内容について

人権教育課

令和元年度 第1回 徳島県いじめ問題等対策審議会について

日 時	令和元年6月11日(火) 午前9時45分から午前11時45分
場 所	県庁10階 大会議室
会次第	1 開 会 委員15名中12名出席 (大西委員, 葛西委員, 佐藤委員欠席)
	(1)教育委員会あいさつ 東條副教育長
	(2)委嘱状交付
	(3)自己紹介
	(4)会長あいさつ 阿形会長
	2 協 議
	(1)いじめ問題等における課題について
	(2)その他
	3 閉 会

協議

- (1)いじめ問題等における課題について  
委員からの御意見・御提言

【いじめに関する意見】

- ・いじめに関するデータだけでなく、具体的事例を挙げて検討することも必要ではないか。
- ・いじめと虐待は、「被害に遭っている子どもが、置かれた環境から逃げられない」という点で共通している。
- ・いじめ問題は教員だけで抱え込まず、PTAや関係機関が連携して解決していくべきである。
- ・いじめに負けないために「生きる力」をつけることも必要である。
- ・いじめられている子どもを傍観することなく、自らの意思で支援できる子どもを育成していくことも大切である。
- ・話を聴いてくれる場が重要であり、SNSを活用した相談は有効である。
- ・いじめの加害者側の生徒に対する指導や支援も重要である。

【不登校に関する意見】

- ・高校選択のミスマッチや性自認の問題が、不登校につながるような対策と丁寧な対応が必要である。
- ・クラス内の人間関係をQU調査(楽しい学校生活を送るためのアンケート)で確認して、改善に取り組んだ結果、不登校生徒数は減少した。
- ・不登校生の多くは、褒められた経験が少なく、自信が持てない状況なので、様々な場面を捉えて、褒めることで自信を持たせていく必要がある。
- ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの活用を促進してほしい。

【インターネットに関する意見】

- ・昨年作成した啓発リーフレットは、分かりやすく大変よかった。
- ・危険性を伝えるだけでなく、ポジティブな面についても伝える必要がある。
- ・インターネットは使えるが、人間関係を築けない子どもが増えた。

(2)その他

- ・本年度の具体的な取組として、不登校問題等に対応するためのリーフレットの作成について検討していく。